

リビングスペースの延長として和室を併設。普段は間仕切りの扉3枚を引き込んでおくことで、ひと編みの空間としてゆったり使える。デッキを設けた南側からの日差しも気持ちいい



①和室からLDKを見渡す。午後の強い日差しが直接入る西側の窓は小さめに抑え、外観デザインを考慮して上げ下げ窓を採用。床はポルドーパイン、壁は子どもが触れることを想定して漆喰と腰板を組み合わせた ②和室はリビングスペースの延長という位置づけ。「子どもを寝かせたり、じかに座ってくつろいだりする場所が欲しくて」と妻



[CHECK POINT]

家を強固に支える
9寸角+8寸角の大黒柱



LDKでひと際目を引く2本の大黒柱は、キッチン側に8寸角、リビング側に9寸角の檜材を使用。「あまりの太さに遊びに来た人みんながびっくりしますね(笑)」と夫。大喜工務店が東濃産の良材を直接仕入れ、自社倉庫でじっくりと自然乾燥させることでさらに強度を高めたもので、大空間を支える構造としても十分すぎるほど。厳選した節のない材は、暮らしに寄り添うインテリアとしても美しく映える。



③南側と西側に畑の風景が開けたのどかなロケーション。南側に庇やバルコニーを張り出させることで夏の日差しを防ぎ、冬は家の奥深くまで光が入るように工夫している。デッキの腰壁やバルコニーの手すりには無垢材を使い、外観が無機質になりすぎないように配慮した ④和の趣が漂うポーチ。石調の外壁は白を基調にして、下層のみレンガ色でメリハリをつけた

大喜工務店 -滋賀-

2本の大黒柱が寄り添う木の香り豊かな集いの場

滋賀・東近江市 Fさんの家
家族構成/夫32歳 妻29歳 長女0歳

「無垢の木に囲まれて落ち着けま
すし、遊びに来た友達も木の香りに癒されると言ってくれるんです。見通しがよく、自然素材ばかりだから子育てにも安心で、夫の両親も『こっちに住みたいな』というらやむほど(笑)」と妻。
太陽光発電やエネファームを搭載した家は、初期投資こそ少々かさんだとはいえ、高断熱構造と相まってエコロジー&エコノミーな暮らしも実現している。
実家の畑だった土地に新居を構えることにしたFさん夫妻は、農地転用手続きや地盤改良も含めて、家づくり計画全体を大喜工務店に任せることにした。
「いろんなハウスメーカーや工務店を見に行きましたが、大喜工務店さんは強度に優れた構造自体がまったく別次元。木をふんだんに使った内装の雰囲気もすばらしいと思いました」
夫妻がそう語る木造の骨太構造を前提に、重視したポイントは「水回りからリビングまでゆとりが感じられる家」。無駄のない家事動線、和室を合わせると約30畳になるLDKは、まさに夫妻の希望どおり。存在感ある2本の大黒柱を筆頭に、天井の太い梁やドイツ本漆喰の壁、質感あるポルドーパインの床なども味わい深い。



十分すぎるほどの高強度と居心地のよさを両立

[大喜工務店]

上質の檜材を産地から直接仕入れ、自社倉庫で長期自然乾燥させて使用。3階建て基準のベタ基礎や2階でもグランドピアノが置ける仕様を標準とし、すべての家が基準の1.5倍以上の耐震性能を誇る。さらに柱・梁・床・天井などを無垢材で構成し、壁にオリジナルの珪藻土などを用いた「無添加骨太高断熱住宅」を推進。大手建築会社に勤める幹部から家づくりを依頼されるほど信頼は厚い。

DATA

社名/大喜工務店
代表/藤田喜代次
住所/〒527-0087
滋賀県東近江市平田町764
☎0748-22-0028
年間建築棟数/新築22棟
社員数/7名
建築地域/滋賀県
設立/1952年1月
定休日/無休
アフターメンテナンスの対応
・随時



6寸角、8寸角、1尺角の檜材は、産地の東濃地方から直接仕入れて自社で長期自然乾燥。「強度に優れた良材のみを厳選して使います」と社長の藤田喜代次さん

COMMENT

過剰だと思われるほどこだわった質の高い住まいを、経営努力で価格を抑えて提供することが私たちの使命です。設計にもじっくりと時間を費やし、100%納得いただけるまでお付き合いします。



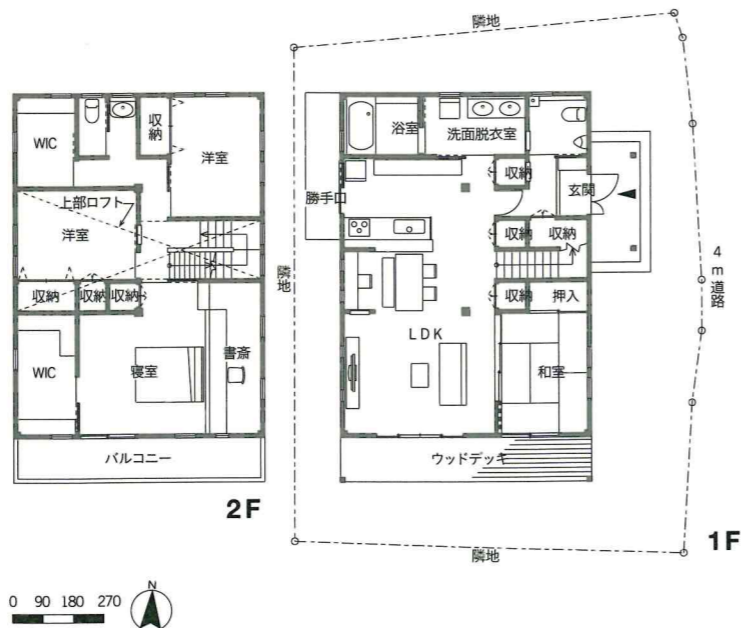
藤田英喜
大喜工務店で100軒以上の住宅設計経験を持つ一級建築士。見た目のデザインだけでなく、生活スタイルを聞くことから始め、幅広い提案を行う。同じく一級建築士である社長とともに家づくりの全工程に携わる

DATA

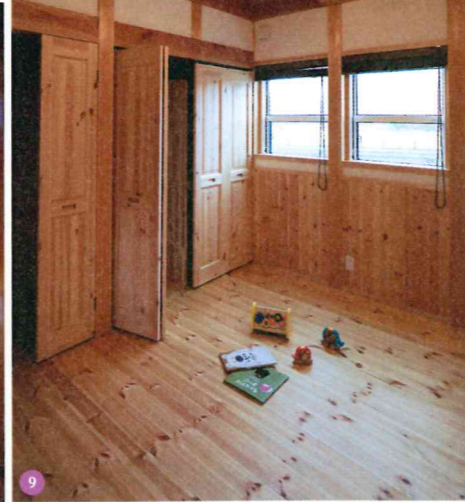
敷地面積/
178.72㎡(54.16坪)
延床面積/
145.74㎡(44.16坪)
1階/72.87㎡(22.08坪)
2階/72.87㎡(22.08坪)
用途地域/市街化調整区域
建ぺい率/70%
容積率/160%
構造/木造軸組工法
本体工事費/2600万円
竣工/2016年5月

INSTRUMENTS

キッチン/パナソニック
窓・サッシ/LIXIL
LDの照明器具/コイズミ

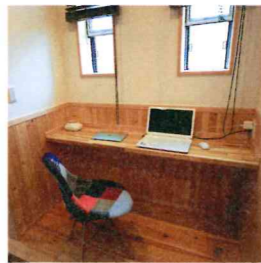


⑨ 2つの洋室はそれぞれ6畳。床材に明るい色調のフィンランドパインを使ったほかは、上げ下げ窓をはじめLDK同様の内装にした⑩ 2階ホールにロフトへの階段を設置。スケルトン構造のため上下の窓からの光が行き渡る⑪ 屋根裏を活用したロフト。高さ制限ギリギリに屋根を設計し、中央部は大人が立てるほどの高さがある



[MY FAVORITE]

家族が気軽に使える
多目的カウンター



「ダイニング横に造作していただいたカウンターは、パソコンを使うときや軽くお酒を飲むときに重宝しています。将来は子どもの勉強机として使うことも想定してこの場所にしました。家族が集まる場所のため孤立する心配もありません」(夫)



リビングからつながる幅7.2x奥行き3mのデッキ。「バーベキューをしたり子どものプールを出したり、いろいろと使えそう」(夫)。床は高耐久性の塗装を施し、色あせしにくい



① LDKは見通しのよい一直線の配置。部屋の中ほどにリビング階段を設置した② 洗濯物を干しやすいようキッチンからサンルームへ通じる動線を確保し、勝手口は開閉しやすい引き戸にした③ 腰壁を造作した対面キッチンはダイニングと一体感があり、家族とのコミュニケーションが取りやすい④ 極太の大黒柱や梁が大空間を構成



⑤ 寝室は天井が高いものの、高断熱仕様にする事で冬の寒さが抑えられ、夏も窓を開けると自然の空気の流れで爽やかな環境を保つ。大きめのウォークインクローゼットを併設しているため、ベッド回りがすっきり片付けられる⑥ 寝室の一角だけ床を上げて、書斎スペースを確保。ワイドなカウンターは、夫のパソコン作業や妻の化粧スペースとして活用している

木の温もりが心地よくて
動線にも無駄がありません



⑤ LDKやサンタリーの広さを優先し、玄関ホールはあえてコンパクトに。ものがあふれて手狭にならないよう下駄箱は大きめに設計した⑥ 「朝の支度が同じ時間帯に重なると不便ですから」(妻)と、洗面脱衣室にはダブルシンクを採用した